

ア. 列車事故

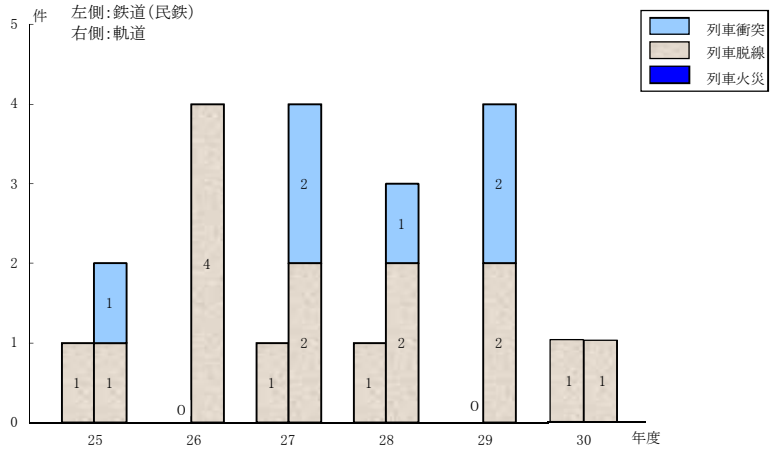
平成30年度の発生件数は、表-2及び図-8のとおり、鉄道1件、軌道1件であり前年度より2件減少した。事故の種類別に見ると、車両衝突事故1件と車両脱線事故1件が発生している。

表-2 列車事故原因推移

原因	年度	25	26	27	28	29	30
部内	取扱	鉄道					1
	車施	軌道	1		2	2	
	両設	鉄道			1	1	
	その他	軌道		1	1	1	2
部外	踏切	鉄道	1				
	その他	軌道					
	災害	軌道	1	3	1		
計	鉄道	1	0	1	1	0	1
	軌道	2	4	4	3	4	1

(注) 列車事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故(軌道における車両衝突事故、車両脱線事故、車両火災を含む)を総称している。

図-8 列車事故種類別件数の推移



イ. 踏切障害事故

平成30年度の発生件数は8件と前年度(11件)より3件減少している。種類別では、第1種踏切において1件減少、第3種踏切において1件減少、第4種踏切において1件減少している。

原因別は、図-12のとおり、直前横断が4件と最も多くなっている。

図-9 踏切道種類別事故件数の推移

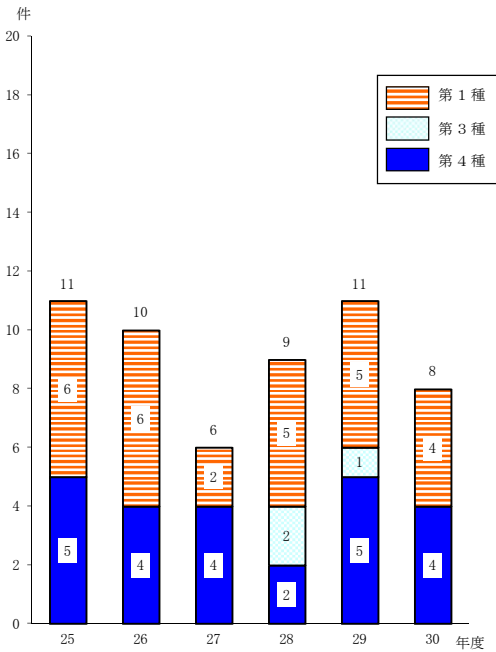
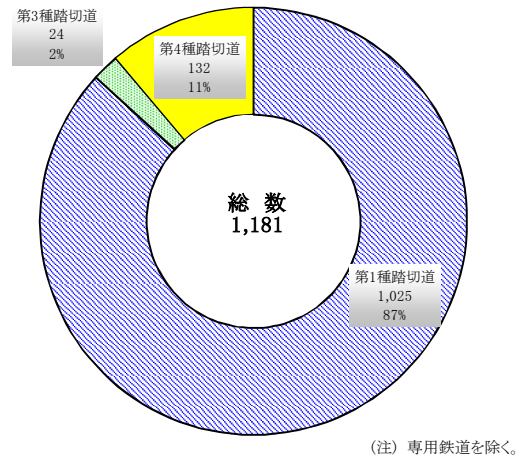


図-10 踏切道数 (平成29年度)



(注) 専用鉄道を除く。

表-3 踏切道種類別事故件数、踏切道100ヶ所当たりの事故件数の推移

踏切道種別	踏切道数		事故件数		踏切道100ヶ所当たりの事故件数	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
第1種	1,045	1,025	5	4	0.48	0.39
第3種	25	24	1	0	4.00	0.00
第4種	139	132	5	4	3.60	3.03
合計	1,209	1,181	11	8	0.91	0.68